

竹でひろがる地域の輪

自治会、大学生、学童クラブ、ボランティア団体、社会福祉協議会が協働した活動



これまでの活動で、道具の使い方や環境の勉強など関わっている人の強みを生かすことでも相互に支え合う学びの場が生まれています。また、子どもたちが「へんちくりん」に参加している地域の大人の顔を知ることで、地域でのあいさつが始まったりしています。

今後の活動として、竹炭窯を作つて炭焼き体験や畑作りなど里山の整備をとおして、誰もが気軽に立ち寄れる地域のたまり場にしていく予定です。

「へんちくりん」での活動は、里山整備をきっかけとして地域に学びの場を作り、これに関わる様々な団体のネットワークを構築しようとします。この活動には学童保育元気っ子クラブを中心に長崎総合科学大学「竹取物語」、白木自治会、舞岳木柴窯(ボランティアグループ)、長崎グリーンヘルパーの会、長崎市社会福祉協議会などが参加しています。

長崎市内にも竹林はいたる所にあり、実際に入ってみると枯れ竹が散乱したりと竹山は荒廃しています。孟宗竹は繁殖力が旺盛で、整備を行わないと生活に支障ができることもあります。竹山を持続的に整備していくことは環境を守っていく上で重要な活動です。

皆さんは孟宗竹をご存知ですか?

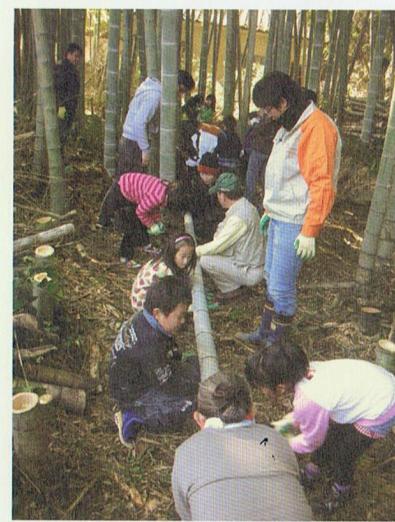
竹でひろがる地域の輪

私は、この活動に参加して気づいたことが二つあります。一つは、子供たちが竹の切り方を学んだり、自分の背丈よりも大きい竹を協力して運んだり、楽しんでいることです。素直なぶん、何か新しいことを学ぶ楽しさを感じているようでした。もう一つは、自治会の方々が、経験を思う存分に生かして、仕事をこなす姿がステキでした。両世代の間でいる私たちだからこそ、学べるものがありました。それは、素直さと経験です。世代間を通じての様々な面において人とのつながりが自分の中できなりました。

長崎総合科学大学
人間環境学部 4年
生月 菜々子

初めての竹切りで、のこぎりとかを使つたこともなかったので緊張したけど面白かったです。切つたりするのは大変だけど、地域のおじちゃんや大学生のお兄ちゃんたちに色々と教えてもらえるのでためになりました。これからも続けてみたいですね。竹切りサイコ。

学童保育
元気っ子クラブ 3年
倉田 陵平



竹林整備活動「へんちくりん」に参加して



「へんちくりん」名前の意味

- ①“へん”ちくりん竹林…竹林を変えよう
- ②へんちくりんな(得意分野をもった)人たちが集まって活動している

この取り組みが地域に根ざし、継続して活動していくために、多くの仲間を増やし、地域のネットワークを広げていこうと考えています。